

《令和元年度 留学生スタディ・ツアー 江戸切子製作体験を実施しました》

1. 日 時:令和元年 12月 8日(日) 14:45 ~ 16:30
2. 内 容:江戸切子の製作体験
3. 会 場:切子体験教室 創吉 (東京都台東区雷門 2-1-14)
4. 参 加 費:本協会にて負担しました。
5. 参加人数:30名

中国:8名、韓国:3名、オーストラリア:2名、ベトナム:2名、アメリカ:1名、イギリス:1名、イタリア:1名、インドネシア:1名、ギリシャ:1名、サウジアラビア:1名、台湾:1名、ハンガリー:1名、フランス:1名、香港:1名、マレーシア:1名、モルドバ:1名、モンゴル:1名、ヨルダン:1名、ルーマニア:1名

6. 実施状況:

今回のスタディ・ツアーは、留学生 30名の募集に対し 96名の応募があり、東京の伝統工芸である江戸切子への関心の高さがうかがえました。実施当日は参加者として選ばれた 30名全員が時間通りに集合し体験を開始することができました。

会場である切子体験教室 創吉で、留学生は3部屋の工房に分かれて作業を開始しました。各工房では、教室スタッフが必要に応じて英語による説明を行いました。

まず、ガラスの色を選び、ガラス底面と側面に施すデザインを、サンプルの中から選択しました。バラなどの花や、アルファベット、動物など多様なデザインから選ぶことができ、選んだデザインをガラスにペンで下書きする作業を行いました。模様を彫る機械を使用する際には、練習用のガラスで、力の入れ具合やガラスの動かし方などを教わったあと、各自のガラスで実際に模様を彫る作業を行いました。

はじめはぎこちない動作であった留学生も、作業後半になると慣れた様子でガラスに模様を入れることができるようになっていました。出来上がったガラスを、撮影用の台に置きライトをあてると模様がくっきりと浮かび上がり、留学生は「思っていたより綺麗にできた」と喜んでいる様子でした。



講師による説明を熱心に聞く留学生



ガラスに模様を彫る様子



完成したガラス



記念撮影